

令和3年度 埼玉県小学生バレーボール連盟理事会 議事録

期 日 令和3年12月19日(日) 15:30~16:45

会 場 北本市体育センター

出席者 山下会長・相沢副会長・須田副会長・有井副会長・小俣理事長・北田副理事長・大澤副理事長・飯塚副理事長・金子常任理事・畔原常任理事・栗原常任理事・徳永常任理事・宮崎常任理事・五味理事・中里理事・鈴木理事・石田理事・大和田理事・梅田理事・河田理事・小林理事・古田理事

会長挨拶 時間が限られ議題も多い。慎重審議に協力を請う。議案が残ればリモート会議にて対応する。

議題

【報告事項】

1 地区委員会(東西南北・男子)

○畔原東部・徳永南部委員長 特になし。

○栗原西部委員長 1/8 新人戦に向けた審判講習会を実施予定。リーダー研修会を計画中。

○宮崎北部委員長 3/15 6年生交流大会を実施予定(昨年度は中止)

○小林男子副委員長 今大会の男子8チーム出場に関し協力に感謝する。2/6 リーダー研修会実施予定。

2 専門委員会(競技、審判、強化指導普及、経理、総務)

○北田競技委員長 本日の試合結果を速やかにHP掲載する。

○飯塚審判委員長・笠原経理委員長・大澤総務委員長 特になし。

○金子指導普及委員長 リーダー研修会実施予定。来年度に指導者一次講習会開催を計画中。

3 その他

○北田競技委員長 2/20 埼玉群馬対抗(桐生市)にて実施。小連は蓮田北(男子)、宮原(女子)を推薦

【協議事項】

1 会長杯争奪小学生バレーボール新人大会(3/5・6 くまがやドーム)

○北田競技委員長 決勝大会のチーム数はどう考えているか。女子24、男子・混合各8でいかがか。

○栗原西部委員長 今後の状況が不透明であるので、変更せずに女子16、男子・混合各4がいい。

○宮崎北部・畔原東部委員長 平衡性を考慮すると、チーム数は変更せずに比例配分を希望する。

○徳永南部委員長 当地区としては、6チームを配分していただきたいところである。

○畔原東部副委員長 女子各地区4チーム配分では厳しすぎるように感じる。

○山下会長 出来れば多くのチームに参加いただきたい。緩和可能な時に実行したいと考える。

→小俣理事長 女子16チーム(比例配分)、男子・混合各8チーム出場でいかがか。賛成多数

現6年生にも緩和したかったが残念である。時間設定は競技委員会に一任する。

2 全日本バレーボール小学生大会(女子の試合方式について)

○北田競技委員長 今年度は地区毎に予選を行った。要項作成のため次回の女子予選方法を協議したい。男子・混合は、各地区での登録数に差異があり、地区方式は不可能と考える。

○徳永南部委員長 当地区では全県方式を希望する声が多かった。

○畔原東部委員長 地区での意見は半々であった。個人的には総合開会式ができるなら全県方式がいい。

○宮崎北部委員長 コロナ禍であるので地区方式の要望が多かった。

○栗原西部委員長 全県方式でやりたいという声が多い。

- 北田競技委員長 全県方式にすると、会場利用状況の調査把握が必要となり、困難が予測される。
- 徳が南部委員長 コロナの感染者数が多く、体育館の利用状況も厳しい地区であるが、許されるなら他地区に行っても試合がしたい。
- 小俣理事長 とりあえず全県方式で進め、状況を見て地区方式になった準備もお願いしたい。
- 北田競技委員長 4/30 抽選会を予定している（4/29 総合開会式後は 50 周年記念事業計画中のため）

3 地区の再編成

- 相沢プロジェクトリーダー 配布資料の通り、各地区に男子と混合を組み込む案を提案したい。
- 小林男子副委員長 地区の登録数に偏りがあるため、地区毎の役員選出等は困難なことも想定される。
- 北田競技委員長 混合に関しては、既に地区に組み入れ、役員選出も済んでいる。
- 小俣理事長 プロジェクトチームからの提案に感謝する。混合の責任者の選出をお願いする。
- 山下会長 次年度は更に進めたプロジェクトに引き継ぐ。メンバーは次回理事会にて選出。

4 令和 4 年度主要行事予定

- 北田競技委員長 配布資料の通り

5 令和 4 年度 スポ少混合バレーボール交流大会開催方法

- 北田競技委員長 例年、混合のみ 2 月開催であって、今年の参加申込は 44 チームとなったため 2/20 くまがやドーム・本庄シルクドーム、2/23 鴻巣市にて振分けて実施予定。令和 4 年度は男子・女子と同一日に混合も開催すること（予選実施）を提案したい。
- 宮崎北部委員長 男子・女子と同様に、混合の予選実施は可能であると考えます。
- 徳永南部委員長 混合の予選実施はスケジュール的にも問題無いと思う。
- 栗原西部・畔原東部・小林男子副委員長 同意見である。
- 山下会長 提案通り令和 4 年度から混合も同一開催とする。

【その他】

・チームの大会参加者登録（ベンチスタッフ）について

- 小俣理事長 情報提供である。競技規則上、同一チーム内の指導者が複数チームのベンチスタッフとして出場することは認められないが、埼玉県小連では認識が足りず競技規則に抵触する事案があった。次年度より是正する。
- 大澤総務委員長 リーダー研修会について、係る費用の基準を設定し均等にしたい。また、当該事業の清算については、統一書式にて提出いただきたい。講師謝金は県協会ですら措置されているので、その他の部分、会場費や協力チームへの謝礼を同一金額とし支払ってほしい。不足分は地区運営費にて充当し、使途明記のこと。指導普及委員長の指示の下、統一を図ってほしい。
- 山下会長 スポ少全国大会（島根県）は帯同審判制をとることになった。
- 小俣理事長 帯同審判について日小連常任理事会で承認。相互審判という呼称で副審を担当する。

有井副会長挨拶

県大会終了後の限られた時間の中で、全議案の協議が済み、大変感謝する。お疲れ様でした。

- ・次回理事会 令和 4 年 3 月 6 日（日）大会終了後

議事録 総務委員 古田ゆき江